

出会いの希望 (ルツ 2:1-3)

ナオミは最悪の状況で、毎日、食つなぐことで精いっぱいでした。当時のイスラエルでは、収穫のとき、落ち穂を拾い集めて良いというルールがあったので、異邦人の嫁ルツは落ち穂拾いに出ます。そこで「はからずも」行ったところがボアズの畑でした。神様が導かれたのです。最悪の状況で、なにも改善せずにその状況が続くとき、神様はそこに出会いの祝福を備えておられます。ルツとボアズの出会いは、のちにダビデが生まれる家系、そして、そこからキリストが来られる家系へと続きます。自分の目で見える状況や自分の水準で落胆しないようにしましょう。神様は一度もそのような人間の妨害で止められることなく、神様ご自身の計画をまっとうされました。どんなに人間がダメになっても、そこにレムナントを残し、神様の働きを進め福音の出会いの祝福を通して契約をまっとうされました。状況に左右されず、気にすることなく、契約に集中して、契約を成し遂げられる神様にフォーカスを合わせましょう。エリヤは死んだほうがよいだと言って倒れましたが、そこにエリシャと 7000 人の弟子の出会いがありました。初代教会は迫害され、ピリポは散らされ逃げていましたが、そこにエチオピアの宦官との出会いがありました。プリスキラ夫婦は、ローマの法律が変わってローマから追い出されましたが、そこでパウロとの出会いが用意されていました。オネシモは犯罪者で刑務所に入りましたが、そこでパウロとの出会いがありました。状況がどうであっても、出会いの祝福は用意されています。神様は状況が有利なのか、不利なのかと関係なく、出会いの祝福を通して契約を成し遂げられるということを、契約として握りましょう。

状況にとらわれず、いまの状況そのまま契約にポイントを絞り、契約の希望を握って、いまの状況を受け入れ、感謝して順応しましょう。まず神



の国とその義を求めなさい。そうすれば、それに加えて与えられます(マタイ 6:33)とされています。加えて与えられるものを求めるのではなく、神の国とその義とにポイントを絞るなら、まっとうできるようにして下さるのです。イスラエルが植民地であることを弟子たちが言ったとき、イエス様はそれは知らなくてもよい。イエスの証人となる道は邪魔されないの、祈りに専念するようにと言われました(使徒 1:6-8)。状況が改善しなくても、その状況を見るのではなく、主を見上げ、神様の計画、神様の願いにポイントを移しなさいと言われていきます(ピリピ 4:6)。契約は邪魔されずにまっとうされます。契約にポイントを移し、出会いの祝福に期待しましょう。

信者の勝利の鍵は、状況をテーマにしないで、それらに邪魔されずに契約をまっとうされるので、未信者との祝福の出会いにポイントを移すことです。神様は福音と聞く人との出会いを備えておられます(使徒 13:48)。出会いの祝福を与えるため、その人は飢え渴きたまひとなつていきます。その人が問題を抱えて目の前にあらわれたとき、問題についてあれこれ言うのではなく、その問題を通して人生の限界を見て飢え渴くようにされていることを見るのです。サマリヤの女がイエス様に出会ったときのように、その人はイエス・キリストの福音を聞いて受け入れるように備えられています(ヨハネ 4:15)。エチオピアの宦官とピリポとの出会いのように、どんな状況でもだまされずに、その状況を益とされて、契約をまっとうされる出会いの祝福があります。

そのようにして受け入れた人の中に弟子との出会いが備えられています。ここにフォーカスを合わせましょう。福音が通じ、キリストが人生の答えだと知り、オンリーキリスト、オンリーイエス、それで終わり、福音で終わりとなり、祈りが通じる人がいます。その人は聖霊の導き、聖霊の力を信

じるので、使命が通じ、神の国がテーマになります。自分の生きる理由がいろいろあるのではなく、神の国のために生きるという人です。世界中が暗やみの国なので、そこに神の国が臨むこと、福音宣教が生きる理由だと通じる弟子との出会いがあります。その弟子との出会いは、ダイナマイトのような爆発的な力があります。

そして、次の世代、レムナントと出会うように祝福されます。次の世代、レムナントとの出会いを通して福音、契約が継承されるようにしてください。レムナントとは、残された者(福音を聞く者、福音を持つ者)、残る者(自ら志願して福音のために生きる者)、残す者(レムナントを起し、人生作品を残す者)です。そのようなレムナントとの出会いを備えて、神様はご自分の契約をまっとうされていきます。

最悪の状況だと思い、改善されないと考えるの中で、出会いの祝福が備えられています。いま許されている状況を悲観したり、文句を言ったり、つぶやいたり、自分の水準で計算したりせず、その状況から目を離して、契約を固く握りましょう。契約は、「イエスはキリスト。私は神の子ども。世界福音化、237 か国、47 都道府県に福音を伝えるために教会とともに」です。そのために、いまの現場が与えられています。その契約の道を歩むためのすべては与えられています。いまの状況で与えられていることは、聖なる仕事だと考え、喜びをもって自分の最善を尽くしてやりましょう。福音の光が放たれているので、まわりの人が見えるようになる日が来ます。その日を待ち望み、いまの状況に順応していきましょう。

(<http://jremnant.com> に音声と動画が出ています)

ルツ記 2:1-3 の出会いの希望

なるほど/ 神様は、状況が有利か不利かと関係なく、福音の出会いをプロデュースされ、キリストの契約を成し遂げられるし、信者に契約成就の幸運な道を歩ませる。ならば/ 状況を悲観したり文句言ったりせず、また計算も捨て、契約を堅く握り、状況に順応しよう。自分に臨んだ福音が光を放つその日を待ちながら。

インマヌエル教会聖日メッセージ祈り文 (2019年12月1日)

1 部礼拝： 御名をたたえるくちびるの果実 (ヘブ 13:15)

神様に感謝と栄光をささげる礼拝の祝福を味わいながら、福音で幸せで、伝える人生になるようにして下さり感謝します。私の一生が救いを与えた神様に感謝と栄光と楽しい賛美をささげる人生になりますように。神様が与えた救いの恵みとすべてのことを持つて神の国と福音のために私の中心をささげますように。霊的な力と恵みを回復して、暗やみの勢力が打ち砕かれ、聖霊が働き、霊的世界を動かす賛美を味わいながら、メロデーのある祈りで毎日私のくちびるの果実になりますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。

2 部礼拝： 神の国のために (使 1:3)

サタンの国を崩して、世の中を生かす教会として、神の国のための人生を生きるようにされて感謝します。神様が私たちにくださった天名、3 呪いを解決したキリストの契約を握って、神の国を建てますように。神様が私を召され、救われたいつもともに、伝道、権威の奥義を持って、サタンを打ち砕き、神の国を完成しますように。キリストの証人として神の国のために人を生かす使命を果たしますように。神の国のために立派な証人の人生を生きますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。